

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	UPDATE新江古田スタジオ	公表日	2025/3/27
------	----------------	-----	-----------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	・お子様の様子や状態に合わせて外での活動も取り入れている点。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	・職員のシフトの管理などをこまめに行い適切な人数を配置できるようにしている点。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	・図なども用いて認知のレベルに差があっても理解できるよう情報を伝達している点。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	84.62%	15.38%	・毎朝清掃を行うとともに、お子様が手に取りやすい位置に物を配置している点。	・騒音問題に対する防音措置を強化いたします。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・活動前に職員間で話し合いスペースを確保している点。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	92.31%	7.69%	・毎日終礼のタイミングで適宜活動内容などを共有している点。	・職員間でコミュニケーションを積極的にとる意識を高めていきます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・評価表の締め切りを十分な期間を設定し定めている点。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・風通しのいい職場環境によって職員間での意見交換をしやすくしている点。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%		・設置できるよう対応しております。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・研修では座学だけでなくロールプレイを行いお子様の立場に立つ機会を設けている点。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	・作成できた際には、保護者の確認を取りダブルチェックを行っている点。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	・担当者会議を行い多角的な視点から支援方法を考え作成している点。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・職員間での共通理解のため、適宜担当者会議を行っている点。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	・情報を見やすくまとめ、職員が確認できるようにしている点。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	・訪問などを行い、スタジオ外でのお子様の様子についてアセスメントする機会を設けている点。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	・モニタリングなどにより外部の関係機関とを連携を行い、より具体的な支援内容の設定を行っている点。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	92.31%	7.69%	・職員間で意見を交換し、より良いプログラムの作成に繋げている点。	・職員同士での共有を引き続き行っていき、活動の立案をチームで行っていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・前回の利用時の活動を確認しステップアップに繋げている点。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	92.31%	7.69%	・利用者の方の状況に応じて臨機応変に個別活動と集団活動を設定している点。	・引き続き、集団活動を行う際に年齢やレベル設定を工夫して行っていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	92.31%	7.69%	・チームで取り組めるよう常に情報を共有し、環境を整えている点。	・打ち合わせの機会を更に設け、情報共有を十分に行います。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	・その日に行われた共有が、出勤していなかった職員にも共有できるよう記録を行っている点。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・誰が見ても理解できるよう簡潔かつ十分な情報量において共有を行っている点。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・モニタリングだけでなく、訪問などを取り入れ適切な計画の見直しを行っている点。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	・ガイドラインを職員が理解できるよう環境設定を行っている点。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	・活動内で自由時間なども適宜取り入れ、スケジュール管理をお子様本人が選択できる環境設定をしている点。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	・お子様のことをよく理解した者が参画できるよう、シフトの設定を行っている点。	
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	61.54%	38.46%	・保護者様の要望によって適宜行っている点。	・更に医療機関とも共有や連携できるよう体制を整えるとともに職員の知識をさらに向上する研修を行います。
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	84.62%	15.38%	・適宜いつでもやり取りできるようにしている点。	・学校との情報共有を行えるよう、十分な機会を設けていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	・適宜いつでもやり取りできるようにしている点。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%	・適宜いつでもやり取りできるようにしている点。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	92.31%	7.69%		・現状連携を行えている機会が少ないため、機会を増やしていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	61.54%	38.46%	・訪問を行うことで交流をしている点。	・交流の機会が少ないため、必要に応じて機会を設けます。

関係機関や保護者との連携	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	69.24%	30.76%	・協議会などに参加できるよう勤務調整を行っている点。	・職員が協議会に参加できるよう体制を作ります。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・いつでも情報共有ができるようSNSなども活用している点。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	69.24%	30.76%	・面談などを活用しながら個人に合わせた情報提供を行っている点。	・保護者の方のニーズに合わせて機会を設けていきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	・利用者負担について熟知しているスタッフが説明する機会を設けている点。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	・作成が完成すると確定前にWチェックを保護者の方に頂いている点。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	・計画をお見せする際には説明をきちんと行い、同意をいただけるよう取り組んでいる点。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・日常の中でも面談を行うことができるよう説明を行っている点。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	84.62%	15.38%	・イベントなどでも保護者同伴の機会を設け交流の場を作っている点。	・保護者同伴の機会が少ないため、ニーズに応じて機会を設けます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・定期的にスタッフ間で会議を行い改善できるよう努めている点。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	92.31%	7.69%	・ブログなどを活用し月ごとのイベントなどについても周知している点。	・継続してイベントでの様子などもブログなどに取り上げ発信していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・メールなどでも利用者様の名前を匿名で記入している点。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・ホワイトボードなども用い、可視化でのコミュニケーションを取り入れている点。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	23.08%	76.92%	・地域の方が来た際に事業所の説明を行っている点。	・地域の方に理解頂けるようにイベントを設定できていないため、必要に応じて機会を設けます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	92.31%	7.69%	・座学だけでなくロールプレイなども行い理解を深めている点。	・研修日に出勤できなかったものために動画を取って残すなどして訓練できるようにいたします。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	・お子様も参加できるよう訓練の設定を行っている点。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	・一人一人のお子様の情報シートの記入をお願いしている点。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	92.31%	7.69%	・アレルギーについてスタッフが理解できるよう記入シートを活用している点。	・全員にシートの提出の依頼をしております。今後も継続いたします。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	・安全な環境を設定できるよう机上なども取り入れている点。	

非常時等の対応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・ヒヤリハットに繋がりそうな場所に関しては、外部と連携して環境改善を行っている点。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・定期的に研修の機会を設け、ロールプレイなども取り入れている点。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	・同意書などもお預かりして両者での理解を深めるタイミングを設けている点。	